

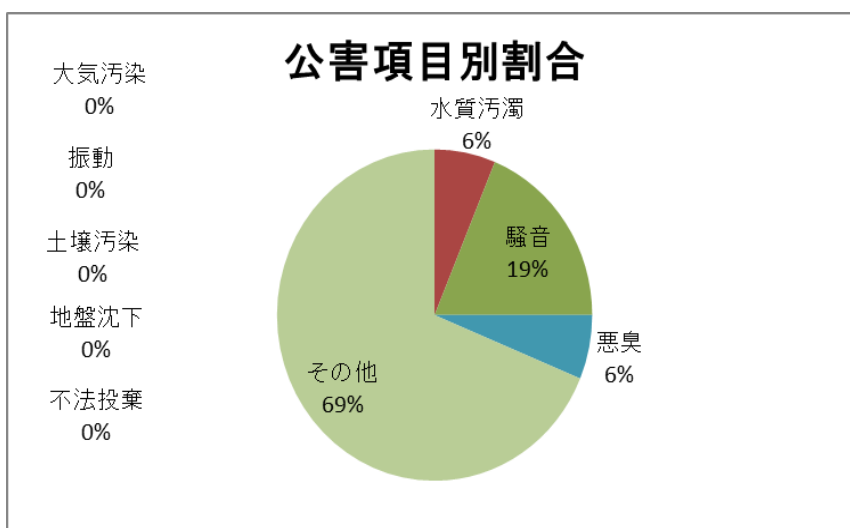
7 公害苦情発生状況

平成27年度に受け付けた公害苦情は16件であった。このうち、典型7公害(大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下)に係るものが5件、その他のものは11件であり、その内訳は次のとおりであった。

表7-1

分類	公害の種類	件数
典型7公害	大気汚染	0
	水質汚濁	1
	騒音	3
	振動	0
	悪臭	1
	土壌汚染	0
	地盤沈下	0
	小計	5
その他	不法投棄	0
	その他	11
	小計	11
合計		16

図7-1

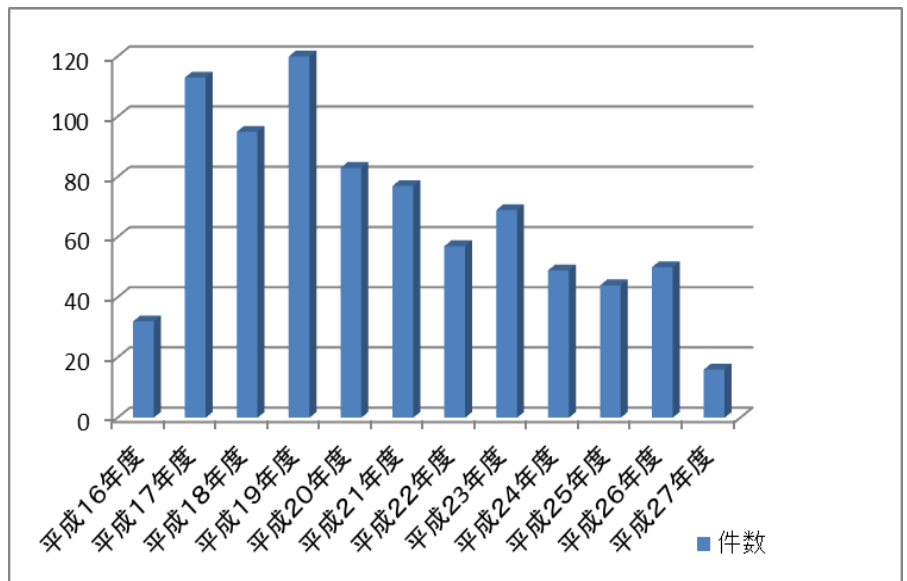


典型7公害のうち、苦情件数が最も多かったのは「騒音」の3件で、飲食店・土木関係・太陽光設備が原因のものが1件ずつであった。次に多いのが「水質汚濁」「悪臭」の1件ずつで、「水質汚濁」は、不動産屋が原因、「悪臭」は、牧場が原因のものであった。その他、「大気汚染」「振動」「土壌汚染」「地盤沈下」については苦情が無かった。

以上、典型7公害の5件は、割合としては、31%にあたり、典型7公害以外の苦情は全体の69%であった。中でも最も多かったのは、「その他」に関する11件で、不法投棄に該当するものはなく、全て一般家庭による野焼きに関するものであった。

表7-2 年度別苦情件数 図7-2

年 度	件数
平成16年度	32
平成17年度	113
平成18年度	95
平成19年度	120
平成20年度	83
平成21年度	77
平成22年度	57
平成23年度	69
平成24年度	49
平成25年度	44
平成26年度	50
平成27年度	16



過去10年間の年度別苦情件数は、表7-2及び図7-2に示すとおりである。

近年の動向としては、平成24年度以降40～50件ほどで推移していた苦情件数が、平成27年度には前年度の約1/3ほどに減少している。

全体として苦情件数は減少しているが、一般家庭による野焼きに関する苦情の割合は依然として高く、市では、市民への屋外焼却行為の禁止や廃棄物の適正処理について周知徹底に努めてきた。